

## 阿尾保育園運動会

10月5日(土)、前日までの雨が上がり、阿尾保育園で運動会が行われました。子供たちは、競走やダンスに一生懸命に取り組んでいました。



子供たちから元気をもらう有意義な一日でした。



## 海峰小学校学習発表会

10月6日(日)、小学校の学習発表会がありました。劇や合唱、運動等に練習の成果を十分に発揮していました。



## ピカチュウ訪問

9月3日(火)、阿尾保育園にピカチュウ訪問がありました。能登半島地震を経験した子供たちに元気になってほしいという思いから行われたものでした。子供たちは、ピカチュウに触れたり、一緒にダンスをしたりして楽しいひとときを過ごしました。



## 小学校と保育園の合同避難訓練



9月4日(水)、海峰小学校で、阿尾保育園の園児と一緒に地震による津波を想定した避難訓練が行われました。小学生が園児の手を引いて、校舎の2階に安全に早く避難できました。

## \* 公民館主事の独り言

9月10日(火)、氷見市芸術文化館ホールで「氷見市こころの健康づくり講演会」(講師:公認心理師・臨床心理士 中田翔太郎氏)が開催されました。

心の健康を保つために、この講演会の内容を生かすために

心のしんどさを和らげるすべを身につけるには…

- ① スレッサーを知る。「しんどさ」とは何か。
  - ・不安感、恐怖感、不快感、体の緊張、食欲不振
- ② 身体へのストレス反応に気付く。
  - ・認知、感情、身体反応の変化を自覚する。
- ③ コーピング
  - ・ストレス反応から注意をそらす。
  - ・平時から準備しておく。

これらまとめると右図のようになる。

## ○ 11月の講座案内

| 講座名           | 曜日      | 開設日                              | 講師・責任者 | 時間              | 部屋 |
|---------------|---------|----------------------------------|--------|-----------------|----|
| 生け花<br>(池坊)   | 第1・3水曜日 | 6日 20日                           | 西山栄津子  | 10:00～<br>14:00 | 洋室 |
| かな書道          | 第1・3月曜日 | 4日 18日                           | 猶明 光華  | 13:00～          | 洋室 |
| 学童茶道&<br>百人一首 | 毎週木曜日   | 7日 14日 21日 28日                   | 学童支援員  | 15:00～          | 和室 |
| 手芸            | 第3火曜日   | 19日                              | 伏木あい子  | 13:30～          | 和室 |
| 潮華会(新舞踊)      | 毎週土曜日   | 2日 9日 16日 23日 30日                | 大野 朝子  | 19:00～          | 和室 |
| 潮月会(新舞踊)      | 毎週金曜日   | 1日 8日 15日 22日 29日                | 大野 朝子  | 13:00～          | 和室 |
| 囲碁サロン         | 毎週月・水曜日 | 4日 6日 11日 13日 18日 20日 26日<br>27日 |        | 13:30～          | 和室 |
| フラダンス         | 第1・3月曜日 | 4日 18日                           | 東軒みさ子  | 19:00～          | 和室 |
| 常磐会書道教室       | 第2・4土曜日 | 9日 23日                           | 名苗くみ子  | 10:00～          | 洋室 |

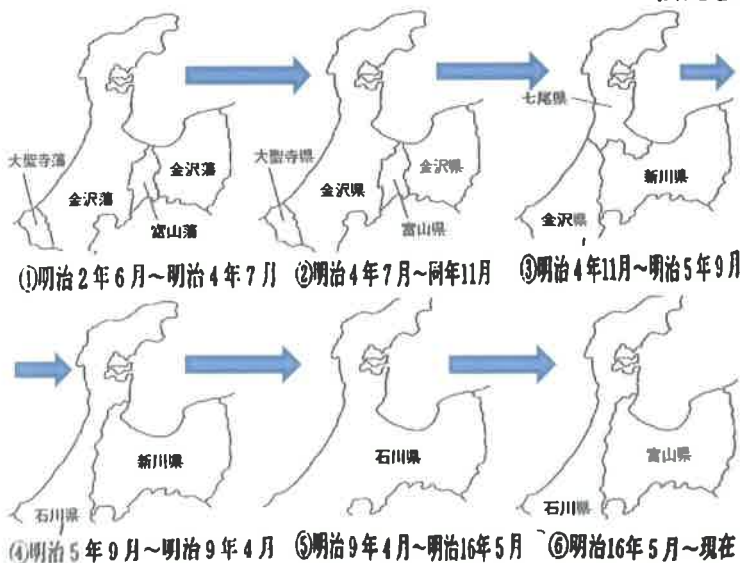
## ○ 阿尾公民館からのお知らせ

- ・今年度の阿尾公民館祭は、11月2日(土)・3日(日)の予定です。是非、お越しください。
- ・11月のふれあいランチは、阿尾地区9日(土)、指崎地区15日(金)の予定です。

## ○ おらっちゃん風土記

※氷見市史2 通史編 近・現代 参照

～私たちの氷見市はどのようにしてできたのだろうか～



明治2年、藩は府県と並ぶ行政区画となり、藩庁の所在地名がその藩名となった。旧加賀藩だった氷見は金沢藩の管轄となった。

明治4年、廃藩置県を断行し、金沢藩を廃止して金沢県を設置した。さらに新政府は管轄区域の石高を30～40万石を基準として、統合あるいは分割して新しい県を創設していった。

同年11月、金沢県は廃止され、金沢県、七尾県、新川県が新設された。七尾県は能登国全域と越中国射水郡を管轄区域とした。氷見は七尾県の所轄となった。

明治5年七尾県が廃止され、越中国射水郡は新川県に編入され、氷見も新県の新川の管轄となった。

明治9年、新川県が廃止され、石川県に合併された。

明治16年、富山県が設置され、越中国全体を管轄する富山県とそこに所属する氷見地域という体制が確定した。

越中国を石川県から分離しようとする運動は、明治12年に開設された石川県会において加賀、能登、越前、越中から選出された県会議員が対立したことで表面化した。対立の背景には、河川の治水事業等の土木費の配分に加え、自由民権運動に伴う政治意識の高まりがあった。明治14年・15年の県会も混乱し、ついには越中国は、代表を上京させて政府首脳に請願し、富山県が創立した。この運動には、阿尾の嶋尾三郎氏も大いに活躍した。

富山県(氷見市)が創立するまでに、いろいろな経緯や先人たちの努力があったのですね。